

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 生涯学習の充実  
 基本事業 生涯学習関連施設の充実

事業名 **図書館運営管理事業**

[0424]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	情報図書館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 情報図書館
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・施設が適切に運営管理される。 ・利用者が安全・快適に利用できる。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 情報図書館の運営管理に要する経費
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	年間開館日数(全館)	日	289	291	293	290
活動指標2	運営維持管理経費	千円	59,579	63,619	66,265	65,972
成果指標1	年間資料貸出利用者数	人	207,996	211,113	220,084	209,400
成果指標2	年間資料貸出冊数	冊	931,246	905,532	905,392	900,600
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	59,570	63,618	66,265	65,972
正職員人件費(B)		千円	33,607	33,046	27,288	33,181
<b>総事業費(A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>93,177</b>	<b>96,664</b>	<b>93,553</b>	<b>99,153</b>

費用内訳	
23年度	報酬 34,955千円、賃金 1,576千円、需用費 13,715千円、役務費 824千円、委託料 14,372千円、使用料及び賃借料 563千円、備品購入費 260千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
 妥当である  
 妥当性が低い

理由・  
 根拠は？

図書館法、江別市情報図書館条例などにより資料の収集・整理・保存・提供が定められている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
 貢献度ふつう  
 貢献度小さい  
 基礎的事務事業

理由・  
 根拠は？

生涯学習の充実のため人的・施設の援助を行っている。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
 どちらかといえばあがっている  
 あがらない

理由・  
 根拠は？

貸出資料数や予約資料数、また来館者数はほぼ横ばいであるが、おおむね順調に推移している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
 成果向上余地 中  
 成果向上余地 小・なし

理由・  
 根拠は？

図書館電算システムの更新により経費削減が図られている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
 ない

理由・  
 根拠は？

常に必要最小限度を意識し、経費節減に努めている。